

マニュアル操作による Wizard® MagneSil™ Sequencing Reaction Clean Up Systemの用法



Wizard® MagneSil™ Sequencing Reaction Clean-Up Systemは、HTS対応の自動化ロボットだけではなく、マニュアル操作で行った場合でも、非常に簡単な操作で、効率よくシーケンシング反応からBigDye™標識されたDNAを精製できます。図2の2本立および12本立の0.5mlチューブ用磁石スタンドを使うことにより複数の検体から約20分でローディングサンプルの調製を完了できます。さらに、エタノール沈殿やゲル濾過のような遠心や吸引の操作が不要です。シークエンサーによる解析では、エタノール沈殿法と同様またはそれ以上の判読が可能です。

本稿では、Wizard® MagneSil™ Sequencing Reaction Clean-Up Systemと磁石スタンドをマニュアル操作で用いるためのプロトコールとその結果についてご紹介いたします。この製品の詳細は、本誌の4～6ページをご覧ください。

開始サンプル：20μlのシーケンシング反応溶液
 準備するもの：・磁石スタンド ・90% エタノール
 ・シークエンサーで指定されたローディングバッファー

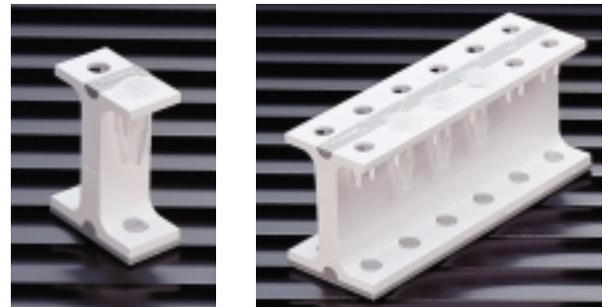


図2. 0.5mlチューブ用磁石スタンド
 左：2本立て (カタログ番号 Z5331)
 右：12本立て (カタログ番号 Z5341)

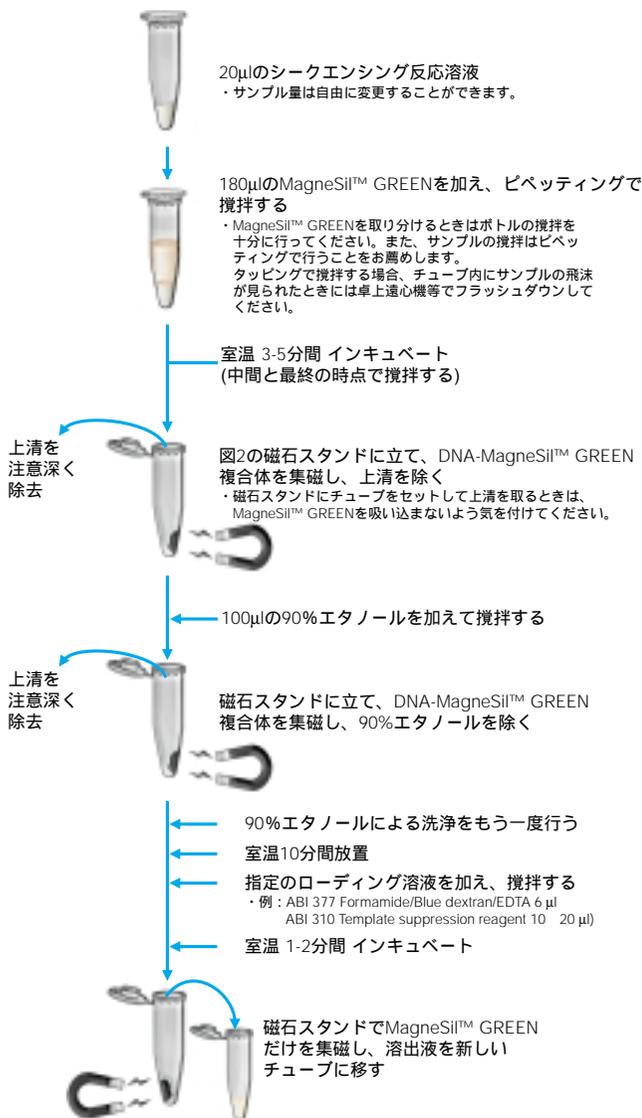


図1. マニュアル法による実験手順

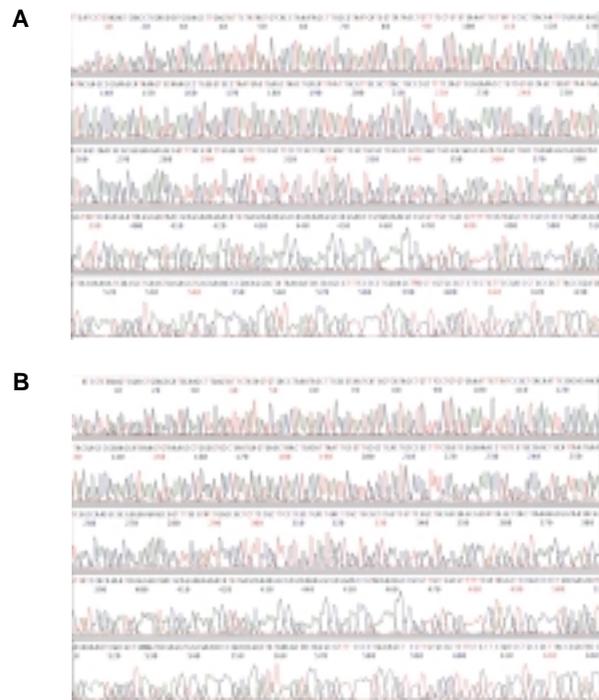


図3. マニュアル法により精製したシーケンシング反応液の解析結果。
 pGEM®-3Zf(+) Vectorを鋳型とし、BigDye™ターミネーターを用いてシーケン
 シング反応を行った。マニュアル操作に従ってWizard® MagneSil™ Sequencing
 Clean-Up Systemを用い、ABI 377シークエンサーで解析した。対照としてエタ
 ノール沈殿を行った。パネルA：Wizard® MagneSil™ Sequencing Clean-Up
 System、パネルB：エタノール沈殿。